

遠隔による授業の開始にあたって

新型コロナウイルス感染症の猛威は容易に衰えず、全国民に緊張の日々をもたらしてきました。

本学では、学生一人ひとりがこの感染症に罹患せず、また、感染を広げないことを確実にするために、3月下旬から体調の管理や行動の制限をお願いするなど、情勢の変化に応じて、種々の対策を講ずるとともに、新学期に執りうる授業の形態を検討し、準備を進めてきました。

そのような中で、4月21日に「宮城県新型コロナウイルス感染症対策本部会議」が開催され、感染症のまん延を防止するために宮城県から本学に対しても25日からの施設の使用停止及び催物の開催の停止要請がなされました。本学は、すでに入学式の中止などによって学生の皆さんや関係者が多数集合することにより起こりうる万一の感染拡大の防止に取り組んできましたが、さらにその後も少数の学生の来学が続いてきたことから22日には学生の大学敷地内への立ち入りを禁止することにさせていただきました。このように本学は、宮城県からの停止要請に先んじて対応を取ってきています。他方、学生の皆さんにとっては、大学に行かないために学生生活に容易に入り込めないという感覚を覚える方もいるかもしれません。想像力を働かせて前期科目履修への心の準備を怠らないようにお願いしたいと思います。

さて、4月27日からは、上記の宮城県からの停止要請には含まれない遠隔による授業を開始することになります。遠隔による授業については、3月から教職員が力を合わせて懸命に準備を進めてきました。すでに学生の皆さんによる履修登録も完了し、全体像が固まってきました。これから開始までの数日間、教員と学生の皆さんが協力してそれぞれ機器の取り扱いなどに習熟するよう努力してもらいたいと思います。

遠隔による授業は、本学においてほとんど経験のないことです。事前にどれほど準備をしても、これが全くの不具合なく実施できるという自信を持ちうるものではありません。不具合が発生したとしても、対策を施し、学生の皆さんにとって不利益となることのないように措置していきますので安心して取り組んでください。多くの教員にとっても、同様に初めての経験です。デジタル機器への習熟は、ともするとデジタルネイティブ世代の学生の皆さんの方が早いかもしれませんが、ここは、皆で知恵を出し、助け合いながら立ち向かって行くようにしましょう。

この数日、宮城県における感染者の確定数は減少しており、一見、明るい兆しと思うこともあるかもしれませんが、このウイルスは極めて強い感染力を持つことから決して気を許してはいけません。引き続き、自宅に待機し、感染防護措置を確実に実施しながら遠隔授業の受講に当たっていただきたいと思います。

また、来週末からゴールデンウィークの5連休があります。すでにこの期間中については「居住地を越えての移動を控える」ようお願いしてきましたが、緊急事態宣言が全国に広がられた後、国など様々なところから地域間の移動の自粛が繰り返し要請されています。連休中の帰省や県外への旅行を控えるよう改めて強くお願いをします。

新型コロナウイルス感染症との戦いは、世界の人々にとって経験のないものとなっています。感染症への罹患は、自分だけのことでなく、他人を危険に晒す可能性を持つものです。一人ひとりがよく考え、合理的な行動を常にとり続けることによって、乗り越えていきましょう。

2020年4月23日

宮城大学学長

川上伸昭